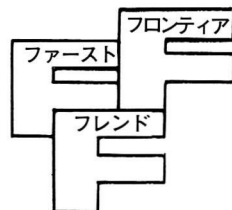




雪印育成3F品種



雪印育成3F品種とは

- ・オーチャードグラス・フロンティア
Frontier
- ・メドーフェスク・ファースト
First
- ・ペレニアルライグラス・フレンド
Friend

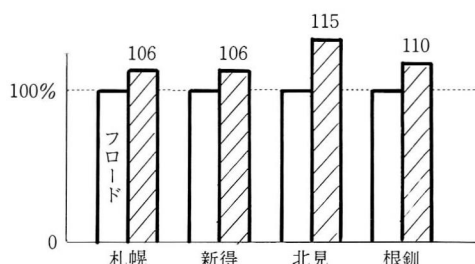
採草、放牧、兼用と多目的にご利用いただけます。

オーチャードグラス **フロンティア** (北海道奨励品種) (OECD登録品種)

オーチャードグラス **フロンティア**の特徴

- フロンティアはハイキングを育種母材とし、耐寒・耐病性、更に多収性を目標に改良・育成した合成品種。
- キタミドリより出穂期が約一週間遅い中晩生品種。
- 一番草が多収、夏・秋の再生も良好、採草・放牧兼用の優良品種。
- 葉の病害が少なく、冬枯れにも比較的強い。
- 北海道の各地で最も多収。

フロンティアの多収性
(3カ年合計乾物収量比)



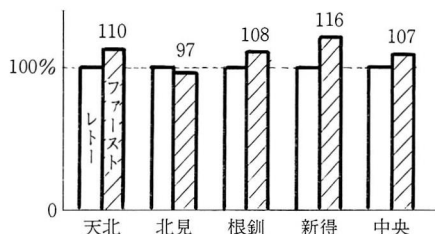
オーチャードグラス「フロンティア」

メドーフェスク **ファースト** (北海道準奨励品種) (OECD登録申請中)

メドーフェスク **ファースト**の特性

- ファーストは早生・耐病性・永続性・多収性を目標に、合成品種法により育成した採草放牧兼用型品種。
- 出穂始はタミストに比し約3日早く、早生系に属する。
- 1番草においては茎数型で出穂性も大きく、茎はやや細く草型は立性である。
- 草勢は春季・秋季共に良好で、播種後の定着が早く越冬状態も良好である。
- 主要病害の網斑病・葉腐病に対しては抵抗性が大きい。

ファーストの多収性
(3カ年合計乾物収量比)



ペレニアルライグラス **フレンド** (北海道準奨励品種) (OECD登録申請中)

ペレニアルライグラス **フレンド**の特性

- 晩生系の早に属し、リベール(中生の晩)より約一週間程度遅い放牧専用品種。
- 寒冷地における冬枯抵抗性にすぐれ、道内では日本海沿いの土壌凍結のない地帯で、優れた永続性と収量性が期待できる。
- 草型は中間型を呈し、葉幅は広く、葉色は濃緑色を呈する。
- 4倍体品種中では多収で、更に年次による収量の変動が少なく安定した生産をあげる。
- ペレニアルライグラスは家畜の嗜好性良好、消化率も抜群。
- 旧名を『マンモス』として知られていたが昭和53年、準奨励品種に決定と同時に『フレンド』と改名。